JSCT2026 参加報告

華岡青洲記念病院　山口隆義

皆様こんにちは，華岡青洲記念病院の山口です。最近は、北海道の夏も本州に負けないくらい暑い状況ですね．ですが、やはり東京界隈は、そんなものではありませんでした．今年の日本 CT 技術学会(JSCT2026)は静岡の三島市で開催されましたが、連日の猛暑でタオルハンカチが欠かせない状況でした．羽田空港からは新幹線を利用すると 1 時間 30 分位ですし、名古屋からも近いという事で、参加人数が多く大盛況の会でした．

２年前に開催された札幌大会から金土の２日間開催となりまして、金曜日の朝早くに札幌を出発し、なんとかキヤノンさんのランチョンセミナーから参加する事が出来ました．このランチョンでは、広島大学の檜垣先生からは PIQE の話があり、国立がんセンター東病院の村松さんからは Ultimion の話をお聞きする事ができました．いよいよ PCD-CT の時代が来たなという印象と共に、画像はありませんでしたが、キヤノン PCD-CT で心臓領域における可能性を追求してみたいと感じました．その後の一般演題は、JSCT らしい演題の数々で、CT 画像の解析や計測のトップランナーが、どのような事を考えて研究を行い始めているのかを理解する事ができました．TCA セミナーも開催され、今回は「時間分解能」と「造影検査」をテーマにお話をされておりました．時間分解能に関しては、motion correction の時代となり、これまでの計測では、その効果を確認できない状況となっていますので、今後の新たな研究が待たれる所かと思います．

１日目のプログラム終了後には、情報交換会も行われました．札幌開催の時に、私が実行委員長で始めたクイズ大会が、今では恒例となり、数々の商品を目指して盛り上がっていました．私は残念賞でしたが、札幌医大の技師さんが商品をゲットしておりました．

２日目は「スペクトラルシェイピング技術」に関するシンポジウム

が開催されました．詳細な物理特性から臨床応用まで興味深い内容で、さすが JSCT という感じでした．キヤノンの Ag フィルターに関しても、被曝低減や位置決め撮影および低線量肺がん検診への応用などのお話がありました．特別講演では、静岡がんセンターの遠藤先生から、超高精細 CT による肺がんの画像診断を中心のご講演がありました．キヤノンの Precision の導入によって、診断精度が向上し以前の CT 画像には戻れないというお話でしたが、それ以上に、今回の大会長である茨城県立医療大学の瓜倉さんとの信頼関係が深く、このような関係性が臨床を含めた多くの研究に繋がったものと感じました．やはり、患者さんを中心とした医療を意識する事が大切ですね．

帰札予定の翌日の朝、そういえば富士山見てない！と思い、三島市内から富士山を見られる場所を検索し、20 分歩いて行ってみましたが、雲の中でした．しかしながら帰り道にあった三島大社に寄る事が出来、プチ観光となりましたが、あいにく改修中という事で、全貌を見る事が出来ませんでした．

来年は秋田開催だそうです．北海道からも飛行機移動が可能ですよ．一緒に行きませんか！？



三島大社の池にいる鯉．集団で寄ってきてちょっと怖い．